

Book Review „The Call of the Cranes“ by Christian Gerhard (Nagano, Japan)

私は鶴が長寿と幸福の象徴であるだけでなく、タンチョウが特別な国家的意味を持っている国に住んでいます。フィクションを好む私にとって、それは本を買うための架け橋でした。400ページで、国際的に認められた鶴の専門家が、さまざまな国での彼の研究の文書を提示します。その出発点は、鶴の声の説明と解釈です。私はそれを読んで楽しみました。これには色々な理由があります。一方で、私はまったく知られていない世界についての情報と洞察を受け取りました。読者はアメリカシロヅルの米国の野生に解放するプログラムでは、発声が不可欠であり、鶴のデュオ鳴き声を録音はどれほどエキサイティングであるか、鶴はグループ形成に移行し、人間の住居の近くに住んでいることを学びます。さらに、鳥の鳴き声を録音する方法に関する素人向けの詳細な手順とヒントが付録に記載されています。すべての研究、特に結果の追求は冒険のように書かれています。読者がイベントの真っ只中にいて、著者の隣にいたので、それは決して退屈になることはありません。作者のモチベーションがいたるところに輝いているので、この本は私を捕らえました。そのモチベーションは、個人的な経験、自然科学の興味、そして自然への愛情の組み合わせです。環境保護の問題と動物と人間の意識の可能な機能を組み合わせることができるのは、おそらく著者の根深い一般的な好奇心です。

専門家の知識に加えて、本を活気づけ、一貫して読む価値のあるものにするのは、この動機です。この本は読者に「観察と経験のシンフォニー」(p.265)を与えます。専門家にとって、それはその科学的基盤のために「必須」です。素人にとって、それは私たちの現実のセクションにアクセスするのが難しい部分を近づけ、それを私たちのより広い経験の世界にリンクするので、「必須」です。それを読んだ後、私ははるかに賢くなりました。